



株式会社 ファンケル

# Communication on Progress

2016 年度

対象期間:2016 年 4 月～2017 年 3 月

---

担当者連絡先

株式会社ファンケル CSR 推進室 小倉 悦子

E-mail [etogura@fancl.co.jp](mailto:etogura@fancl.co.jp)

Tel 045-226-1943 Fax 045-226-1203

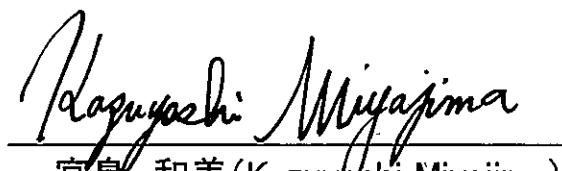
## トップステイメント

ファンケルは、世の中の「不」のつく事柄の解消を目指し、常に実直な経営のもと、高い透明性をもってさまざまな事業活動をしています。

特に 2016 年度は、「人権」活動では、女性が活躍できる職場環境の整備及び、外部への働きかけを積極的に行った結果、女性の職業生活における活躍推進に関する取り組みの実施状況が評価され、厚生労働省より「えるぼし 2」の認定を受けました。

また「労働慣行」では、ワークライフバランスの推進に加え、健康事業企業として地域の健康課題に即した取り組みなどをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人と認められ、今回が初の発表で、当社は大規模法人部門(ホワイト 500)の一社として認定を受けることができました。

2017 年度は、職場環境の更なる向上と、地域へのコミュニティの参画などの積極的な取り組み、環境活動では、資源循環(リサイクル)、CO2や廃棄物の削減等、環境への取り組みを強化すると共に国連があらたに提唱している 17 個の持続可能な開発目標(SDGs)を考慮し、取引先をまきこんだ CSR 調達の方針策定など、常に「もっと何かできるはず」を念頭に活動してまいります。



宮島 和美 (Kazuyoshi Miyajima)

代表取締役 社長執行役員

(President and Representative Director)

2017 年 3 月 31 日

## 「人権」に関する活動報告

本年度の活動内容		結果及び評価	来年度の活動目標	
(1) 人権	1	<p>■新入社員に人権研修実施</p> <p>・日時:2016 年 5 月 10 日</p> <p>・テーマ:新入社員研修</p> <p>・内容:国連グローバル・コンパクト概要説明及びグループワーク(企業の不祥事時 社長謝罪コメントを考えて発表)</p> <p>・講師:グローバル・コンパクト・ジャパン 事務局長 大田 圭介氏</p> <p>・対象:新入社員 25 名</p>	<p>■社会人 1 年目の企業の責任、心構えなどの人間形成に非常に効果的な研修として、教育担当部門からも高評価。</p> <p>■人権問題が身近な課題であり、業務上、自らが人権を意識しながら取り組むことを学んだ</p>	<p>【2017 年度研修実施予定】</p> <p>日時:2017 年 4 月 13 日 10:00~12:00</p> <p>場所:本社研修室</p> <p>新入社員 38 名を対象に、グローバル・コンパクト・ジャパン事務局長 大田 圭介氏を講師に迎え実施予定</p>
	2	<p>■厚生労働省「えるぼし 2」認定</p> <p>・日時:2016 年 8 月 30 日</p> <p>・内容:「女性の職業生活における活躍の推進に関する取り組みの実施状況が評価され、生労働省より「えるぼし」認定を授受。</p>	<p>「えるぼし」認定は、2016 年 4 月 1 日に施行された「女性活躍推進法」に基づく「一般事業主 行動計画」の策定・届出を行った企業のうち、所定の基準を満たした企業が受けることができる認定制度。</p> <p>【評価項目】</p> <p>「①採用」・「②継続就業」・「③労働時間等の働き方」・「④管理職比率」・「⑤多様なキャリアコース」があり、項目ごとに認定基準が設定されている。基準を満たした項目数により、1 段階・2 段階・3 段階の認定となる。</p>	<p>認定段階 3 の取得をめざし、女性の活躍を推進する活動を今後も推進します。</p>

			<p>ファンケルは、②～⑤については基準を満たしたが、①採用項目の、「男女別の採用における競争倍率(応募者数／採用者数)が同程度であること」において、女性の入社希望者が男性に比べ多いため、未達成の結果だった。</p>	
		<p>■目のご不自由な方対象の展示会『第27回アメディアフェア』に、(株)ファンケル化粧品が「メイクセミナー(無料)」初出店</p> <p>・日時:12月23日(金・祝日)</p> <p>・目的:目のご不自由な方の「似合う色が分からない」というお悩みに対し、専門のスタッフが、アイカラーやリップカラーの色選びをお手伝いしました。</p>	<p>1998年から、目のご不自由な方の「容器を識別しにくい」というご不便に対して、指で触って識別できる、凹凸シール『タッチマークシール』を開発。</p> <p>調査の中で、点字表記が判別できるのは全盲の方の約1割ということも分かり、凹凸は点字ではなく、マークを採用しています。</p> <p>■従業員参加ボランティア:6名</p> <p>■ファンケルブースを利用されたお客様:35名</p>	<p>創業以来、(株)ファンケル化粧品は、「どなた様にもご不便なく、ご利用いただきたい」という想いで、製品やサービスの開発に取り組んでまいりました。最近、高齢化により「見えにくい」というお悩みを持つ方が増えています。(株)ファンケル化粧品は、目のご不自由な方や高齢の方のサービス向上に、今後も積極的に取り組んでまいります。</p>

	3	<p>■神奈川県子ども・子育て推進事業者」認定</p> <p>・日時:2016 年 10 月 31 日</p> <p>・主旨:子育て支援への取り組みの実施状況が評価され、「神奈川県子ども・子育て支援推進事業者」の認証授受</p>	<p>少子化・人口減少の現代、仕事も子育ても両立できる職場環境が求められる中、神奈川県では、神奈川県子ども・子育て支援推進条例で、従業員のための子ども・子育て支援を制度化している事業者を、「かながわ子育て応援団」として認証する制度を設けています。</p>	
(2) フェアトレード生産国への人権支援(寄付)	1	<p>■フェアトレードフーズ商品の売上を寄付</p> <p>販売開始:2013 年 商品:塩 3 種 うまみ塩(インドネシア) あまみ塩(ラオス)、 さんみ塩(セネガル)</p> <p>・寄付活動:2016 年度の売上の 5%を、各国で支援活動をしている団体へ奨励金として寄付</p>	<p>同製品の原料を調達している各国の児童支援活動をすることで、お客様への企業姿勢への理解を推進できた。</p> <p>【寄付団体と寄付金額】</p> <p>① 般社団法人あいあいネット ¥ 28,604</p> <p>② NPO 法人ラオスのこども ¥ 34,436</p> <p>③ バオバブの会 ¥ 32,245 寄付金額合計 ¥ 95,286</p>	<p>現在の在庫をもって、商品販売は 2017 年 3 月販売終了予定。</p> <p>売上の一部を現地の子どもたちの教育(児童労働防止)のために、寄付を実施してきたが、今後は別の方法で支援検討。</p>

	2	<p>■「よこはま国際フェスティバル みなとみらいテラスモール」にブ ース出展 (フェアトレードフーズ促進イベント)</p> <p>・日時:2016 年 10 月 8 日～ 10 月 10 日 3 日間</p> <p>・場所:横浜市みなとみらいテラス モールでブース展開し、フ ァンケルフェアトレードフー ズで展開しているセネガ ル、ラオス、インドネシア原 産の塩(さんみ塩、あまみ 塩、うまみ塩)を販売</p>	<p>積極的に、塩のテイスティングを勧め、当社のフェアトレー ド活動をPR出来た。</p> <p>■売上合計: ¥12,800 ※売上の5%は、上記団体への寄付</p>	<p>現在の在庫をもって、商品 販売は 2017 年 3 月販売終 了予定。</p> <p>売上の一部を現地の子ども たちの教育(児童労働防止) のために、寄付を実施してき たが、今後は別の方法で支 援検討予定</p>
(4)障がい者 支援及び その他の 社会貢献活 動		<p>■訪問の家</p> <p>①「訪問の家 第 7 回愛・ひかり フェスタ」(バザー)</p> <p>・日時:10 月 25 日(日)</p> <p>②「訪問の家 お食事会」</p> <p>・日時:12 月 6 日(火)12:30～15: 15</p> <p>・テーマ:「愛をこめてアモーレ クリスマス」</p> <p>重度障がい者福祉施設「訪問の</p>	<p>■来場者:1,366 名</p> <p>■売上: ¥1,220,000</p> <p>■従業員ボランティア(準備含む)77 名</p> <p>■協力者(準備含む):75 名</p> <p>■提供したバザー品:571 点</p> <p>■訪問の家ご招待客:37 名</p> <p>■従業員ボランティア名参加:47 名</p> <p>■グループ全部署からのクリスマスカード贈呈:374 枚 (100%の回収率)</p>	<p>引き続き、 「地域とハンディキャップの 方々と 交流」を方針に、活動を実施</p>

		家」の支援活動から始まった活動が、代々の経営者に引き継がれ、従業員が積極的に参加できる風土、理念となって発展した社会貢献活動		
		■ファンケルセミナー	<p>【2016 年度セミナー実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■実施総回数:152 回</li> <li>■従業員参加人数:171 名</li> <li>■メイクセミナー:39 回</li> <li>■身だしなみセミナー103 回</li> <li>■健康セミナー:7 回</li> <li>■ネイルサービス:1回</li> <li>■外部イベント:2 回</li> </ul>	
		<p>■もっと何かできるはず基金</p> <p>2007 年 6 月に設立。従業員が働きながらも参加しやすい社会貢献を目的として基金に登録している従業員の給料から天引を行います。1 口 100 円～100 口 1 万円まで可。寄付先については、基金に登録している従業員からの申請依頼を受けて運営委員会で審査を行い、マッチングギフトの要求があれば、会社から同金額を加算し、社会支援を目的とした寄付に役立っています。</p>	<p>2</p> <p>■「もっと何かできるはず」基金からの寄付: ¥10,100,000 (マッチングギフト含む)</p> <p>■ポイント寄付(お客様からの寄付): ¥3,078,222</p>	

		<p>■被災地支援 熊本地震へのサプリメント支援 実施</p>	<p>【2016 年ボランティア実績】</p> <p>■被災地支援:22 回</p> <p>■従業員 50 名参加</p> <p>【日本栄養士会からの要請の下、 お送りした支援物資と数量】</p> <table><tr><th>送付先</th><th>到着日と商品</th></tr><tr><td>鹿児島県県栄養士会</td><td>① 4月21日 マルチビタミン&amp;ミネラル 1,500 個</td></tr><tr><td rowspan="4">熊本県県栄養士会</td><td>② 4月24日 マルチビタミン&amp;ミネラル 1,500 個</td></tr><tr><td>③ 4月25日 満点野菜ジュース 4,008 本</td></tr><tr><td>④ 4月28日 発芽米 金のいぶきバランスバー1,800 本</td></tr><tr><td>⑤ 5月5日 マルチビタミン&amp;ミネラル 3,000 個</td></tr></table>	送付先	到着日と商品	鹿児島県県栄養士会	① 4月21日 マルチビタミン&ミネラル 1,500 個	熊本県県栄養士会	② 4月24日 マルチビタミン&ミネラル 1,500 個	③ 4月25日 満点野菜ジュース 4,008 本	④ 4月28日 発芽米 金のいぶきバランスバー1,800 本	⑤ 5月5日 マルチビタミン&ミネラル 3,000 個			
送付先	到着日と商品														
鹿児島県県栄養士会	① 4月21日 マルチビタミン&ミネラル 1,500 個														
熊本県県栄養士会	② 4月24日 マルチビタミン&ミネラル 1,500 個														
	③ 4月25日 満点野菜ジュース 4,008 本														
	④ 4月28日 発芽米 金のいぶきバランスバー1,800 本														
	⑤ 5月5日 マルチビタミン&ミネラル 3,000 個														
(5)その他  【貧困への 取組み】	<p>■「ファンケル キッズベースボール」 (子ども野球教室)の開催</p> <p>・目的:用具不足に悩む国々に、 バット、グローブ、ボールな どを寄贈 日本の子どもたちに、使わ なくなった野球用具を、教</p>	<p>【2016 年度実績】</p> <table><tr><th>開催日</th><th>開催地と参加人数</th></tr><tr><td>4月30日(土)</td><td>北海道札幌市(444名参加)</td></tr><tr><td>7月9日(日)</td><td>石川県金沢市(402名参加)</td></tr><tr><td>10月22日(日)</td><td>福島県福島市(186名参加)</td></tr><tr><td>10月29日(土)</td><td>島根県出雲市(381名参加)</td></tr><tr><td>11月13日(日)</td><td>福島県筑後市(479名参加)</td></tr></table>	開催日	開催地と参加人数	4月30日(土)	北海道札幌市(444名参加)	7月9日(日)	石川県金沢市(402名参加)	10月22日(日)	福島県福島市(186名参加)	10月29日(土)	島根県出雲市(381名参加)	11月13日(日)	福島県筑後市(479名参加)	引き続き次年度も各地での 活動を実施予定
開催日	開催地と参加人数														
4月30日(土)	北海道札幌市(444名参加)														
7月9日(日)	石川県金沢市(402名参加)														
10月22日(日)	福島県福島市(186名参加)														
10月29日(土)	島根県出雲市(381名参加)														
11月13日(日)	福島県筑後市(479名参加)														



	<p>室参加の際、持参していた だいて回収</p> <p>・講師:元プロ野球選手 7 名</p>	<p>・寄贈国と寄贈点数 9 か国 2,867 点</p> <p>① パラグアイ:98 ② ブラジル:203 ③ コスタリカ:20 ④ ボリビア:230 ⑤ グアテマラ:197 ⑥ スリランカ:178 ⑦ ネパール:123 ⑧ ペルー:446 ⑨ タンザニア:1,372</p>																					
	<p>路上生活者の方たちなど生活困 窮状態の方の支援団体への協力</p> <p>■NPO 法人 さなぎたち (横浜市中区)</p>	<p>【2016 年度「NPO 法人さなぎ達」への支援活動】</p> <table><tr><th>支援項目</th><th>支援元</th><th>支援回数</th></tr><tr><td rowspan="2">発芽米</td><td>(株)ファンケル発芽玄米 長野工場</td><td>570 k g (19 回)</td></tr><tr><td>(株)ファンケルスマイル</td><td>400 k g (9 回)</td></tr><tr><td>粉末青汁</td><td>(株)ファンケルスマイル</td><td>30 包入り 455 箱 (14 回)</td></tr><tr><td>衣類など</td><td>ファンケルグループ従業員</td><td>提供者 16 名 (7 回)</td></tr><tr><td>木曜パトロール</td><td>ファンケルグループ従業員</td><td>参加者 7 名 (1 回)</td></tr><tr><td>年会費</td><td>(株)ファンケル</td><td>10 万円 (1 回)</td></tr></table>	支援項目	支援元	支援回数	発芽米	(株)ファンケル発芽玄米 長野工場	570 k g (19 回)	(株)ファンケルスマイル	400 k g (9 回)	粉末青汁	(株)ファンケルスマイル	30 包入り 455 箱 (14 回)	衣類など	ファンケルグループ従業員	提供者 16 名 (7 回)	木曜パトロール	ファンケルグループ従業員	参加者 7 名 (1 回)	年会費	(株)ファンケル	10 万円 (1 回)	
支援項目	支援元	支援回数																					
発芽米	(株)ファンケル発芽玄米 長野工場	570 k g (19 回)																					
	(株)ファンケルスマイル	400 k g (9 回)																					
粉末青汁	(株)ファンケルスマイル	30 包入り 455 箱 (14 回)																					
衣類など	ファンケルグループ従業員	提供者 16 名 (7 回)																					
木曜パトロール	ファンケルグループ従業員	参加者 7 名 (1 回)																					
年会費	(株)ファンケル	10 万円 (1 回)																					

## 「労働基準」に関する活動報告

本年度の活動内容		結果及び評価	来年度の活動目標
ワークライフ バランス	1	<p>【認定条件】</p> <p>1) 理念 2) 組織体制 3) 制度・施策実行 4) 評価・改善 5) 法令順守・リスクマネジメント 等の定められた項目を満たすこと</p> <p>弊社では、医療機関と提携し医師監修の下で個人の健康診断や生活習慣の状況に基づき、健康カウンセラーが個人に合った食事・運動・休息に加えてアドバイスし、目に見える結果を導き出す「健康増進サービス」を従業員250目 宇に対して実施し、生活習慣のカウンセリング指導を実施。また職場の環境づくりとして、朝礼時のストレッチ体操実施、ワークライフバランス工場のために在宅勤務制度の導入など、さまざまな取り組みを行い、その効果を検証</p>	<p>今後は、これらの活動を一層推進し、従業員一人ひとりが「主体的に自らの健康づくりに取り組んでいける仕組み」を充実させていく予定。また、特定保険指導の実施やデータヘルス計画についての協働も行う予定。</p> <p>弊社では、日本一の健康サポート企業を目指し「一生涯、心身ともに健康で生きること(グッドエイジング)」を叶え、増え続ける国民医療費の削減という「不の解消」の実現を図ってまいります。</p>
	2	<p>【グループ実績 2015 年度】</p> <p>※2016 年度は、2017 年 5 月発表</p> <p>■従業員数(正社員):903 名(うち女性 598 名) ■役員数:23 名(うち女性 5 名) ■女性の管理職比率:42.9%</p>	<p>【2018 年度までの取り組み目標】</p> <p>(1) 女性のキャリア形成のための支援 (2) 柔軟な働き方に対応した制度の導入 (3) 男性も育児に積極的に参加しやすい職場環境の推進</p>

		定時後の時間は、家族や友人と過ごし、資格取得に時間を充てるなどの取り組みを推進している。また、さまざまな休暇制度を設け、働きやすい環境を整えている。	■外国籍の勤務者数:44 名 ■60 歳以上の勤務者数:29 名 ■障がい者雇用率(特例子会社含む):2.6%(法定雇用率 2.0%) ■子育てのための時短勤務利用者数:76 名 ■配偶者主産支援休暇取得者数:11 名 ■こどもの看護休暇取得者数:20 名 ■介護休暇取得者数:17 名 ■平均月間時間外労働時間(1 人あたり): 7.88 時間(前年度 7.23 時間) ■パート社員から契約社員登用数:10 名 ■契約社員から正社員登用数:51 名 ■中途採用:41 名	・有休完全消化 ・残業の削減 ・育児休暇(特に男性社員)取得促進
3	■介護セミナー実施  ・日時:2016 年 7 月 28 日(木) ・テーマ:「家族の介護」 ・目的:介護に関わる悩みや不安を抱える従業員に専門講師がアドバイスを行うと共に、具体的な対応や、「個人で悩みを抱えない」という認識が出来るようにする。  ・講師:公益社団法人 認知症の人と家族の会 ケースワーカーマネージャー 山本文子氏	■参加人数 ファンケル本社:15 名 横浜工場:7 名  本音で悩みを語り合える「座談会」形式で、個々の悩みに講師が回答し、アドバイスすることで、参加者全員の情報共有。参加者からは、「ひとりじゃない」という前向きな気持ちで介護に向き合えるような時間になったなどの声が上がりました。		

		<p>・実施場所</p> <p>① ファンケル本社: 12:00～13:00</p> <p>② 横浜工場:18:00～19:00</p>		
	4	<p>■労働環境向上の積極的な取組が評価され、神奈川労働局長がファンケルを訪問</p> <p>・日時:2016年11月18日(金)</p> <p>・目的:厚生労働省では、11月の「過労死等防止啓発月間」の一環として、「過重労働解消キャンペーン」を実施。本社を訪問し、当該企業の長時間労働の削減に向けた積極的な取組事例を報道機関に広く紹介することにより、過重労働解消にむけて、気運の醸成を図ることが目的</p>	<p>【企業会談の実施】</p> <p>会談では、職場環境改善について広く意見交換が行われ、特に労働時間を減らす工夫について意見を求められた。</p> <p>ノー残業デー取組事例などを紹介し、制度を導入しただけでは労働時間削減につながらないことを説明。トップダウンによる意識づけや、オフィスの電気を強制的に消して帰宅を促すなど、会社がある程度厳しく運用しなければ根付いていかないことを当社事例として紹介</p> <p>神奈川労働局でも、過重労働解消キャンペーンの啓発事例を模索しており、管内で女性活躍やワークライフバランスなど、複合的かつ積極的に取組んでいる企業として</p> <p>ファンケルに白羽の矢が立ち、神奈川労働局長が弊社を訪問し、社長と会談する運びとなった。</p>	

## 「環境」に関する活動報告

本年度の活動内容		結果及び評価	来年度の活動目標	
(1)環境啓発教育	1	<p>■電力自由化セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2016 年 5 月 16 日(月)</li> <li>・場所:ファンケル本社 4 階第 1 会議室</li> <li>・対象:全従業員(希望者)</li> <li>・テーマ:「電力自由化ってなに？」 ～賢い電気の選び方～</li> </ul> <p>・内容:4 月からの電力自由化。さまざまな企業が参入する中、わたしたちは、何を知り、どこを選べばいいのか？電力自由化についての基礎知識から東京電力、東京ガスのお得な情報事例を挙げていただきながらの説明</p> <p>・目的:</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 電力自由化の基礎知識を得る</li> <li>②「家庭でエコプログラム」達成の秘策を知る。</li> </ul> <p>・講師:東京電力エナジーパートナー(株) 幸田 孝之氏</p>	<p>■参加人数:28 名</p> <p>新入社員を中心とした若年層の従業員の参加が多く、基本的なエコな電気活用法などの活発な質問が寄せられた。</p>	「家庭でエコプログラム」サポート企画として、今回は「電力自由化」を取り上げたが、次年度も引き続き、環境啓発を兼ねた、生活に役立つ情報を提供していく予定
	2	<p>■新入社員環境研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2016 年 5 月 20 日</li> <li>・場所:道志の森</li> <li>・対象 2016 年度入社の新入社員 25 名</li> </ul>	<p>社会人 1 年目の環境の重要性の理解を高めることで、日々の業務へ活かせる基礎づくりに貢献</p>	<p>【2017 年度研修予定】</p> <p>日程:5 月 1 日</p> <p>26 期生(2017 年度入社)新入社員 38 名の環境研修を実施予定</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容: 生物多様性座学及び道志村水源林にて体験作業</li> <li>・講師: 横浜市水道局 浄水部水源林管理所 所長 温井 浩徳氏</li> </ul>		
	3	<p>■自己革新セミナーで環境セミナー「気象変動と気候変動」実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時: 2016 年 9 月 7 日(水) 18:00~19:30</li> <li>・場所: ファンケル本社 4 階第 1 会議室</li> <li>・対象: 全従業員(希望者)</li> <li>・講師: NPO 法人 気象キャスターネットワーク 気象予報士・防災士 岩谷忠幸氏</li> </ul> <p>・内容: 社内の環境啓発セミナーとして、生活に密着した身近なお天気の変動から、最近 さまざまな被害をもたらしている自然災害との関係。社内や従業員の家庭でも取り組んでいる CO2 削減活動につなげていただけるような事例説明</p>	<p>■参加人数: 37 名</p> <p>セミナーでは、水の入ったペットボトルを使用し、水がどれだけ CO2 を吸収できるかなど、視覚で退官する実験などを取り交ぜ、実際に国内で起きた自然災害の数々を紹介。防災士でもある講師から、防災の心得なども併せて学んだ。</p>	<p>来年度も、「防災週間」のイベントとして、従業員が常に防災を自分のこととして考え、行動できるような啓発セミナーを実施していきたい。</p>
	4	<p>■エシカル消費セミナー実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時: ①2016 年 9 月 13 日(火) ① 2016 年 11 月 28 日(月)</li> <li>・場所: ①ファンケル総合研究所 ②ファンケル本社 9 階会議室</li> <li>・対象: ①ファンケル総合研究所研究員 ②経営層</li> <li>・講師: (株)大和総研 調査部 主席研究員 河口真理子氏</li> </ul>	<p>■参加人数: ①研究員 70 名 ②幹部社員 30 名</p>	<p>来年度も積極的に、CSR 調達をセミナーなどで推進していく予定</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容:ファンケルが、今後もお客様の信頼を得るために、また、長期的に安定した原材料の調達をするために、早急に取り組まなくてはならないエシカルな原料調達を中心に、ブランドイメージの構築など、ご指導いただく。</li> </ul>		
(3) 環境 PR 活動	1	<p>■「株主総会」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2016 年 6 月 25 日(土)</li> <li>・場所:横浜アリーナ</li> <li>・内容:株主総会内で使用する全電力を山梨県道志村からの CO2 吸収認証のカーボンオフセットで相殺</li> </ul>	<p>来場者数:5,010 名 (うち株主様 4,619 名)</p> <p>電気使用量:49,740kwh(6/17、18,19 の 3 日間)</p> <p>排出 CO2t:24.87t</p>	毎年、カーボンオフセットを実施予定
	2	<p>■横浜市水道局主催 打ち水イベント 「YOKOHAMA Save The Water2016」参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:①2016 年 7 月 20 日(水) ②2016 年 7 月 27 日(水)</li> <li>・場所:①赤レンガ倉庫 ②横浜中華街媽祖廟</li> </ul> <p>7 月 29 日～8 月 7 日まで CSR 推進事務局で受け入れた環境インターシップ研修の一環で参加</p>	<p>横浜市民を対象に「水道、環境、森林」の 3 つの視点から「水」をテーマに開催されたイベントは、打ち水後の路面の温度差に改めて昔ながらの打ち水効果を実感したとともに、環境保全の大切さを再認識する機会となった。今年は、実施場所も観光地ということもあり、市民だけでなく観光客も巻き込んだイベントとなった。</p>	CSR 推進事務局環境の活動として、社内で参加ボランティアを募り、継参加していきたい

	3	<p>■「ファンケルクラシック」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2016 年 8 月 19～21 日 3 日間</li> <li>・場所:裾野カンツリー倶楽部</li> <li>・内容:環境ブースで「横浜市水道局ウィコップ協賛 横浜市の水源地 山梨県南都留郡道志村の自然保全活動」の紹介</li> <li>・実施:CSR 推進事務局</li> <li>・協力:横浜市水道局</li> </ul>	<p>来場者数:20,877 名 ボランティア参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元スタッフ 700 名</li> <li>・ファンケルグループ従業員 500 名</li> </ul> <p>チャリティ活動: 総額¥4,866,700 を 4 団体に寄付</p> <p>弊社が取り組む独自の環境活動を社外 PR することで、経営方針を含む企業としての考え方を発信。会場では、森林の働きを体験するコーナーや打ち水体験を行い、森・林・水について、お子様からご年配の方まで興味を持っていただくことができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 日本赤十字社(熊本地震災害義援金)</li> <li>② 静岡県裾野市</li> <li>③ 社会福祉法人 訪問の家 国連 WFP</li> </ol>	<p>イベント退場者への環境 PR 活動や依頼セミナーを積極的に継続</p>
(4)その他		<p>■「2016 年日本パッケージングコンテスト」で「適正包装賞」受賞(株)アテニア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2016 年 8 月</li> <li>・内容:龍江精工(株)様との共同開発で、お客様が使いやすく内容液残量が少なくなるようなレフィル・専用ホルダーの開発</li> </ul>	<p>レフィルは、環境に配慮しゴミの減量化を目指したポンプ付スタンディングパウチで、専用ホルダーにセットして使用。</p>	<p>引き続き、お客様にとっても、環境にも優しい容器包装にチャレンジしてまいります。</p>



地域の清掃活動		<p>■美しい港町横濱をつくる会 第 12 回一斉清掃活動に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:10 月 22 日(土)</li> <li>・主催:NPO 法人美しい港町横濱をつくる会</li> <li>・参加従業員:9 名</li> </ul> <p>「美しい港町横濱をつくる会」は、横浜市が世界に誇れる美しい港町がある都市環境をつくることを目的に、2010 年に志を持った企業が中心となって設立した団体です。</p> <p>本店所在地が、横浜港のすぐ近くにあるファンケルも、2014 年度に賛同し、従業員が休日の活動として毎回参加しています。</p>	<p>■参加者:弊社従業員 9 名</p> <p>横浜市内の企業 49 社から約 600 名が参加し、中区、西区エリアを 26 のコースに分かれ、清掃活動が行われました。</p>	<p>ファンケルグループは、9 月より従業員が早朝にオフィス周辺の清掃活動も行っています。</p> <p>今後も地道に活動を広げてゆき、地域貢献に力を注いでまいります。</p>
大学での 環境事例講義	1	<p>■横浜国立大学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2016 年 6 月 1 日(水)14:00~15:30</li> <li>・場所:常盤台キャンパス経営学部</li> <li>・受講者:経営学で CSR を学ぶ 2~3 年生 100 名</li> <li>・講師:CSR 推進室</li> </ul>	<p>今年度は、地元横浜の大学からの依頼で弊社の CSR 活動を中心に依頼を受けることが多かったが、年々 CSR を専門に学ぶ学部も増え、中でも環境を学ぶ学生からのお問い合わせやヒアリング依頼などが増えている。企業の取り組みを知ることから、環境や人権に配慮したストーリーのある製品づくりの必要性を強く感じる。人事採用部署との協力体制を取り、学生への情報提供を実施している。</p>	<p>今後も引き続き、ファンケルの認知向上や、企業価値を高める CSR 活動を継続</p>
	2	<p>■武蔵野大学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2016 年 10 月 4 日</li> <li>・場所:有明キャンパス(火)</li> <li>・受講者:環境学部環境学科 9 名</li> <li>・講師:CSR 推進室</li> </ul>		
	3	<p>■フェリス女学院大学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2016 年 10 月 27 日(木)16:00~17:30</li> <li>・場所:緑園都市キャンパス大講堂</li> <li>・受講者:一般教養履修している国際交流学部、文学部、音楽学部 1~4 年生 150 名</li> <li>・講師:CSR 推進室</li> </ul>		

	4	<p>■横浜市立大学</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日時:2017 年 1 月 19 日(木)14:30~16:00</li> <li>・場所:金沢キャンパス</li> <li>・主催・横浜グリーン購入ネットワーク事務局</li> <li>・テーマ「グリーン購入がひらく環境未来都市」</li> <li>・受講者:CSR 活動、自治体の環境政策、まちづくり、海外協力を学ぶ 80 名</li> <li>・講師:CSR 推進室</li> </ul>		
(3)環境啓発活動		<p>■「家庭でエコプログラム」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主旨:CO2 削減においては、家庭こそがいちばん CO2 を削減すべきと着目した従業員とその家族を巻き込んだ施策</li> <li>・施策:半年に 1 度、総務省発表の家族人数別数値を下回れば達成とし、従業員ひとりにつき¥4,000 の褒賞金を贈り、家族には、ひとり増えるごとに¥2,000 の褒賞金を加算する。 また、アイデア賞を達成者の中から 5 名選出し、各 ¥10,000 を贈る</li> </ul>	<p>2016 年度達成者:581 人 (前年度比較 57 人増)</p> <p>ファンケルグループ達成者内訳</p> <p>(株)ファンケル:225 人 (株)ファンケルヘルスサイエンス:31 人 (株)ファンケル化粧品:25 人 (株)ファンケル美健:252 人 (株)ファンケル発芽玄米:27 人 (株)アテナ:17 人 (株)ファンケル保険サービス:2 名 (株)ニコスタービューテック:2 名</p>	<p>継続実施し、全国の店舗達成者の更なる拡大を目指す、挑戦者が飽きずに楽しみながら取り組める仕組みを再構築するために規定の見直しを予定</p>
		<p>■ファンケルグループ従業員への環境啓発セミナー実施</p> <p>目的:「家庭でエコプログラム」実施における参加啓蒙及び CSR 活動の推進浸透</p> <p>対象:(株)ファンケル美健、(株)発芽玄米各工場勤務従業員及び店舗 SV 会議参加</p>	<p>① 横浜工場 ② 千葉工場 ③ 群馬工場 ④ 滋賀工場 ⑤ 長野工場 ⑥ 本社会議室</p>	

## 「腐敗防止」に関する活動報告

本年度の活動内容			結果及び評価	来年度の活動目標																				
コーポレート ガバナンス	1	ガバナンスコードの Explain の項目を再検討し、ガバナンス強化に努めた。	<div>【ガバナンス早見表】</div> <table><tr><th>機関設計</th><th>監査役 設置会社</th></tr><tr><td>取締役人数</td><td>15名</td></tr><tr><td>うち社外取締役</td><td>2名</td></tr><tr><td>監査役人数</td><td>4名</td></tr><tr><td>うち社外監査役</td><td>2名</td></tr><tr><td>独立役員的人数</td><td>4名</td></tr><tr><td>2015年度取締役会 開催数</td><td>17回</td></tr><tr><td>取締役任期</td><td>1年</td></tr><tr><td>ストックオプション制度</td><td>有り</td></tr><tr><td>コンプライアンス規定</td><td>有り</td></tr></table>	機関設計	監査役 設置会社	取締役人数	15名	うち社外取締役	2名	監査役人数	4名	うち社外監査役	2名	独立役員的人数	4名	2015年度取締役会 開催数	17回	取締役任期	1年	ストックオプション制度	有り	コンプライアンス規定	有り	
	機関設計	監査役 設置会社																						
取締役人数	15名																							
うち社外取締役	2名																							
監査役人数	4名																							
うち社外監査役	2名																							
独立役員的人数	4名																							
2015年度取締役会 開催数	17回																							
取締役任期	1年																							
ストックオプション制度	有り																							
コンプライアンス規定	有り																							
	■従業員へコンプライアンス 教育実施	ファンケルグループでは、社内イントラネットによる情報発信から講義形式による教育まで、全従業員に対するコンプライアンス教育を実施しているが、 2015年度から、法務と購買部門が協働で、より実践的な研修を教育部門ファンケル大学に提案し、実施。今年度も、9～10月に合計114人に研修を実施																						
	【テーマ】 単なる法律知識の理解ではなく、企画・制作の業務フローの中で必要となる法律をケーススタディを通じて理解する。																							

【内容】

・業務において必要な法律知識と会社のルールを理解する。

・著作権法・商標法・下請法・個人情報保護・契約締結など業務フローの各場面で考慮すべき法律を把握することで、潜在的なリスクの低減を図る。

【対象者】

業務内容を考慮し、法務・購買部門が選出した部署の課長を含むメンバー

【内容】

・業務において必要な法律知識と会社のルールを理解する。

・著作権法・商標法・下請法・個人情報保護・契約締結など業務フローの各場面で考慮すべき法律を把握することで、潜在的なリスクの低減を図る。

実施日	参加人数	対象
9月30日(金)	13名	研究員
10月4日(月)	15名	第二新卒者
10月5日(火)	25名	アテニア店舗 スーパーバイザー
10月21日(金)	34名	中途入社社員
10月26日(水)	27名	中途入社社員

【コンプライアンス手帳の活用】

ファンケルグループの一員として守るべきルールを明らかにし、共通認識を持って行動するために「私のコンプライアンス行動基準手帳」を全従業員に配付。4コマ漫画とやさしい表記で、7分野・37テーマの考え方や行動をわかりやすく説明している

コンプライアンス手帳は、新入社員・中途入社者の研修のテキストとしても活用され、従業員全員が携帯し、常に確認できる環境にある。

CSR 調達		<p>■お取引に関する法令順守</p> <p>お取引先さまとの共存共栄と公正で適正なお取引関係の維持を基本理念として、社長直轄の内部監査室がファンケルグループ各社における購買基本方針および下請法などの法令、コンプライアンスの遵守状況などを、<u>お取引先さまへのアンケートを通じて毎年モニタリングを実施。</u></p>	<p>アンケートに寄せられたご意見は、守秘を前提に社長自ら直接報告を受け、改善が必要な問題点などは、内部監査室が調査の上、関係部署への改善是正を実施している。また、内部監査室の責任者が、書面でのアンケートだけでなく直接お取引先さまを訪問させていただき、日ごろのお取引についてご意見を承る活動も実施している。</p>	<p>来年度は、原料調達においてのCSR 調達に関する社内理解を深める啓発活動を実施すると共に、お取引様への理解をも得られる活動を目指す予定。</p>
防災対策	1	<p>■神奈川県下一斉防災行動訓練「かながわシェイクアウト」に参加</p> <p>・日時:2016 年 9 月 1 日(木) 午前 11 時</p> <p>・対象:ファンケルグループ 4 拠点(本社ビル、総合研究所、ファンケル美健横浜工場他)の従業員約 1,000 名 同時実施</p> <p>・目的:従業員の防災意識</p>	<p>【2016 年度実績】</p> <p>9 月 1 日(火)11:00</p> <p>神奈川県下における 4 事業所、計約 1,000 名の従業員が参加</p> <p>午前 11 時の社内一斉放送を合図に、机の下に潜るなど「身の安全を確保する行動」を実施。同訓練は県内全域の学校や職場などが、一斉に 1 分間安全確保行動を行う訓練で、実施 4 回目となる今年は参加者が 150 万人を超えています。</p>	<p>引き続き、従業員の安全対策防災に関する啓発活動を積極的に実施してまいります。</p>

		<p>防災対策の向上の 他、従業員の安全確保行動を身につける</p>		
	2	<p>■全従業員参加型の防災訓練実施</p> <p>・日時:2016年10月17(月) 14:00~17:30</p> <p>・対象:当社4拠点(本社ビル、総合研究所ファンケル美健横浜工場他)の従業員約1,000名、各事業所のスケジュールで実施</p> <p>・目的:組織の災害対応力強化</p>	<p>訓練では地域消防署協力のもと、震度6弱の地震+2次災害(火災発生など)を想定し、災害時の安全確保行動や自衛消防隊による火災初期消火・避難誘導、ケガ人発生時の搬送・救護対応、停電時の行動などを拠点ごとに確認。また各拠点の安否情報や被害情報を本社へ集約するなど、本番の災害を想定し実施いたしました。</p> <p>その他、社員により構成される自衛消防隊による初期消火・AED救命訓練・はしご避難体験などを別途実施いたしました。全従業員が参加する大規模な訓練は今年で6回目を迎え、災害時の初動確認に加え、自衛消防隊の防災技術を強化する取組みも充実させています。</p>	
		<p>■中区消防出初式で、ファンケルが感謝状授受</p> <p>・日時:2016年1月7日(土)</p>	<p>感謝状は、区内で消防・行政に貢献し、防火・防災意識を高めた企業として贈られました。</p>	<p>今後も地元企業として、地域のコミュニティと共に防災活動に取り組んでまいります。</p>

	<p>■従業員に向けて防災用品 共同購入の実施</p> <p>・日時:2016年8月29日(月) ～9月9日(金)</p> <p>・対象:本社、総合研究所、 ファンケル美健横 浜、千葉、群馬、滋 賀工場)(株)発芽玄 米、(株)アテナ、 (株)ファンケルスマイ ルの全従業員各事 業所に推奨</p> <p>・目的:従業員の家庭の防 災備蓄用品の見直し と災害対応力強化</p> <p>・協力:(株)そごう西武様</p>	<p>【販売商品及び売上実績】</p> <p>① サニタクリーン簡易トイレ ¥2700×46 個</p> <p>② 多機能ラジオマルチポータブルランタン ¥3,500×18 個</p> <p>③ ビスコ保存缶 10 缶 ¥4200×12 個</p> <p>④ 10 年保存水 ¥4,200×15 個</p> <p>⑤ 防災用品セット ¥9,900×109 個</p> <p>売上合計: ¥1,088,910</p> <p>全従業員に向けて実施した今回の施策は、熊本地震 の影響や、その後の各地での災害などがあったために 自宅の防災備蓄品を改めて再確認することができた。</p>	<p>【2016 年度 まとめ】</p> <p>CSR 調達をはじめとする SDGs への 理解を社内を広げるために、目標を 持って、組織別の啓発セミナーやヒ アリングを実施し、お客様からのご 要望も多い「製品に関する環境配 慮」への取り組みを、部署間の枠を 超え、実施していきたいと思いま す。</p> <p>グローバル・コンパクト署名企業とし て、常に世界の為に、今、わたくした ちに何ができるのかを考え、前進し てまいります。</p>
--	---	--	--

## ステークホルダーへの COP 報告方法

自社の HP 内の CSRトピックスで、タイムリーに活動内容を紹介(下記のサイト例)

【グローバル・コンパクト取り組み】<http://www.fancl.jp/csr/globalcompact/>

【CSRトピックス】<http://www.fancl.jp/csr/case/>

【人権取り組み】<http://www.fancl.jp/csr/human/>

【コーポレートガバナンス】<http://www.fancl.jp/csr/governance/>

●ファンケルの女性の管理職比率の推移、ダイバーシティの推進は、こちらをご覧ください。

<http://www.fancl.jp/csr/human/divercity.html>

●ファンケルのワークライフバランス推進、様々な休暇制度などの取り組みは、こちらをご覧ください。

<http://www.fancl.jp/csr/labor/worklifebalance.html>